

アカウミガメの産卵を発見しました

(H22. 6. 8)

アカウミガメが高知海岸に産卵のため、上陸する季節になりました。
高知市春野町の海岸で6月5日に産卵があり、6月8日に採卵しました。
高知市立春野東小学校の4年生がこの様子を見学しました。

▼ 採卵の前に4年生の皆さんで海岸清掃を行いました。



袋いっぱい
たくさんゴミが
集まっています!

▼ 空き缶やペットボトルが多く見つかっています。



海岸のゴミは産卵のさまたげになります。
アカウミガメが無事に産卵できるように清掃を行いました！



▼ 班ごとに協力して、たくさんゴミを集めました！！



▼ 海岸清掃のあと、いよいよ採卵です。卵があると思われる場所を、少しずつ掘っていきます。

卵はどんな風に
砂の中にあるのかな？



卵が見つかりました！！
150個の卵を産んで
いました！
白くてピンポン球のような
形をしています。

▼ 卵の重さを測っているところです。ウミガメ保護活動をされている熊沢さんが4年生の皆さんとお話しながら採卵しました。



3つ卵を選んで重さを測り計算します。
ひとつ30gありました。平均で32.5g
くらいなので少し軽めでした。

▼ 卵の様子を観察しました。
生んだばかりの卵をそ〜っと優しく持って見えています。



卵の中の黄身がうっすら
と透けて見えている卵も
あります

▼ 採卵した卵は春野東小学校のふ化場へ移します



▼アカウミガメの卵は約2ヶ月でふ化します。子ガメが生まれるまで砂が乾かないように水をかけたりと、4年生の皆さんでのお世話が始まります。



春野東小学校に設置されている
ふ化場です。

今回も熊沢さんからアカウミガメについてたくさん話を聞き、また卵を実際に見ることで4年生の皆さんはよりアカウミガメに興味を持ったのではないのでしょうか。子ガメの誕生が楽しみですね！